

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	地域部会（南総部会）清和県民の森 冬の定番企画「鑑賞炭づくり」		
開催日時	2024年 2月24日（土）10時～14時		
開催場所	君津市・清和県民の森・バーベキュー場	一般参加者	14名

週間の天気予報は「ぐずつく」との予報の中で、暖かく、快晴無風の天候に恵まれ、清和県民の森主催の「鑑賞炭づくり」を行いました。毎年継続して参加している方、初めて参加した方、お子さんに火の扱い方を体験させたいと参加した家族連れ、中年の女子会のサークルなどさまざまな参加者の方を迎え、竈の残り火を活用した焼き芋や、昼食時には管理事務所から差し入れの豚汁をいただき、「おいしい」「おいしい」の連発で、和気あいあいのうちに了しました。

作業のながれとステップごとの注意事項。

- 火を扱うので、やけどと、衣服の焼け焦げに注意します。（ダウンジャケット・フリース）
- 素材を缶に詰め込む時は、水分含有率が同じ素材ごと（乾いた物は乾いた物同士、湿った物は湿った物同士）に缶を分けします。
- 竈に火を付けるときは、空気の通り道を作り、燃える物を組み上げてから種火を付けます。
①乾燥したスギの葉を多めに敷き詰め、②割り箸大の枯れ枝、③人差し指大の枯れ枝、④小さい薪、⑤中くらいの薪、と積み上げます。
- 焼く時間の目安は、火力の大きさにより替わるのですが、乾いた物は約30分、湿った物は約1時間が目安です。白い煙が出なくなったら焼きあがりです。火から缶を下ろす時にやけどしやすいので、缶を下ろすのはスタッフに声をかけてください。
- 取り出しは、缶が体温くらいに充分冷えてから取り出します。



昼食後に、管理事務所が用意した竹籠に作品を入れ、テーブルに並べて各自で感想を述べあい、崩さないよう慎重に、喜んで作品を持ち帰りました。

F I C 講師 植沢 俊・

アシスタント 神子秀男・福村英俊・長嶺 勝